

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和6年度）
研究開発課題名	ナショナルセンター・バイオバンクネットワークを基盤とする疾患別情報統合データベースを活用した産学官連携による創薬開発研究
代表機関名	国立国際医療研究センター
研究開発代表者名	後藤 雄一

総合評価：優れている

【評価コメント】

精神・神経疾患および免疫炎症疾患の患者試料のオミックス解析、一部ゲノム解析を実施し、疾患別情報統合データベースの構築など予定していた作業は終了し、おおむね100%の進捗である。参加企業のニーズを取り入れた非競争的フェーズを構築した点は評価できる。

競争的フェーズの可視化が難しい点や、非競争的フェーズで診断バイオマーカーの発見等の興味深い成果が出ていることを踏まえ、今後、3年間の独占期間において、競争的フェーズの新薬創出等への有意義な成果が出てくることを期待する。

今後は、医療分野の進展につなげるためにデータを解析する専門家体制を構築し、新たな創薬研究に資するよう努めるとともに、研究成果に関する論文公表、学会発表等のアウトリーチ活動が積極的に行われることを望む。

以上